

小・中学生を持つ全ての家庭が一緒に取り組む

スマホ・ケータイ

宮っ子ルール共同宣言

「学力低下」「睡眠不足」「ネットいじめ」など、スマートフォンや携帯電話による重大な問題が起きています。こうした問題から小・中学生を守るため、市では「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」を策定・宣言しました。この宣言に基づき、社会全体で小・中学生を守る取り組みを進めていきたいと思います。

増加するトラブル

小・中学生が「スマートフォンや携帯電話を持つ割合」「長時間携帯電話を使用する割合」が、ここ数年、大幅に増えています（下のグラフ）。

こうした中、長時間使用による生活習慣の乱れや、個人情報の掲載によるトラブルなどの重大な問題も増えてきています。

全ての家庭で取り組む

この問題には、全ての家庭が、同じ歩調で取り組んでいく必要があります。

そこで、本市では、全家庭が共通して取り組むルールを盛り込んだ「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」を宣言しました。

スマホ・ケータイ

宮っ子ルール共同宣言

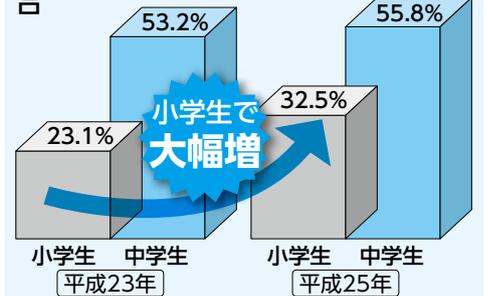
保護者は、必要のない限り、子供たちにスマートフォンや携帯電話を持たせません。持たせる場合は、保護者の責任で以下の4つの約束を守らせ、安全安心に使わせます。

- み** みんな1日1時間まで
- や** 夜間の友達との使用は9時まで
- つ** 使う前にはフィルタリング
- こ** 個人情報をのせません

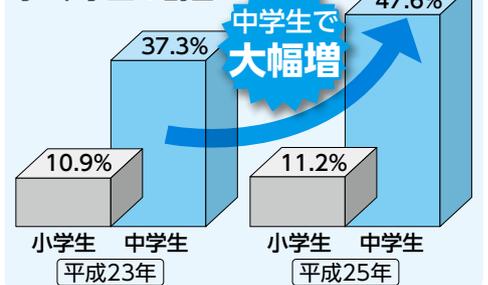
■みんな1日1時間まで

ネット依存が疑われる中学生は、約51万8000人いると推計されています（厚生労働省調べ）。長時間の使用は、睡眠不足や学力低下など子どもたちの生活に悪

■携帯電話を持っている小・中学生の割合



■1日1時間以上、携帯電話を使用する小・中学生の割合



出典：「学習と生活に関するアンケート」

影響を及ぼします。1日1時間以内を目安にして使いまししょう。

■夜間の友達との使用は9時まで

LINEなどのSNSで、友達とのメッセージのやり取りを深夜まで続けてしまう小・中学生が増えています。勉強に集中したり、規則正しい生活を送ったりするために、全ての家庭で、夜9時になったら友達とのメッセージのやり取りをしないようにしまししょう。

■使う前にはフィルタリング

ネット被害者の約9割がフィルタリングをしていなかったことが分かっています（警察庁調べ）。出会い系サービスなどの有害サイ

トへのアクセスによるトラブルに巻き込まれないために、必ずフィルタリングをしまししょう。

■個人情報をのせません

友達の個人情報や悪口などを書き込むことで、犯罪やいじめの「加害者」になる事例が発生しています。一度公開した情報は拡散されてしまい、どんなに削除しても元には戻りません。個人情報は公開しないようにしまししょう。

社会全体で守ろう

学校や家庭・地域などが連携して、社会全体でスマートフォンや携帯電話による問題から、小・中学生を守っていきましょう。

本文中に記載がないものは、原則として、対象どなたでも、費用無料、申込不要。
 区 地区市民センター、出 出張所、選 生涯学習センター、参 うつのみや表参道スクエア、HP ホームページ、Eメールアドレス、域 地域自治センター、活 市民活動センター